

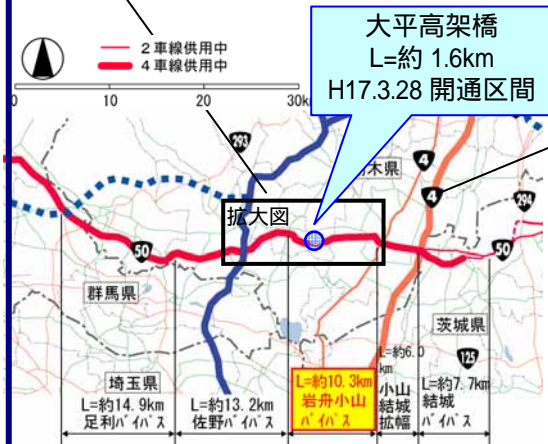
# 国道 50 号大平高架橋の4車線化によりボトルネックが解消

= 国道 50 号 岩舟小山バイパス大平高架橋 4 車線化の整備効果 (第一報) =  
記者発表資料

国道 50 号岩舟小山バイパスの大平高架橋延長約 1.6km (栃木県下都賀郡大平町西水代) が平成 17 年 3 月 28 日に 4 車線化され、国道 50 号栃木県内全線が 4 車線化されました。

このたび、概ね開通 1 ヶ月後の交通実態調査を実施し、交通状況の変化をとりまとめましたので、お知らせします。

結果によりますと、鯉ヶ島交差点の渋滞が解消され、周辺的生活環境が改善されました。



## 幹線道路の機能向上!

ボトルネックとなっていた鯉ヶ島交差点の**渋滞**が解消し、**旅行速度が約 20km/h アップ**しました。

## 周辺地域の環境が改善!

ボトルネックの解消、旅行速度の向上等により、交通状況が改善し、CO<sub>2</sub>の排出量が削減されます。

**CO<sub>2</sub>削減量約 1,690t/年「約 3%削減」**

(約 1,690 t-CO<sub>2</sub>/年は、栃木県中央公園 15 個分の面積に相当する森林の年間 CO<sub>2</sub> 吸収量と同等)

平成 17 年 6 月 24 日 (金)  
国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所

### 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ、  
栃木県政記者クラブ

### お問合せ先

国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所

副 所 長 金子 剛 (内線 205)

調 査 課 長 佐久間 博之 (内線 451)

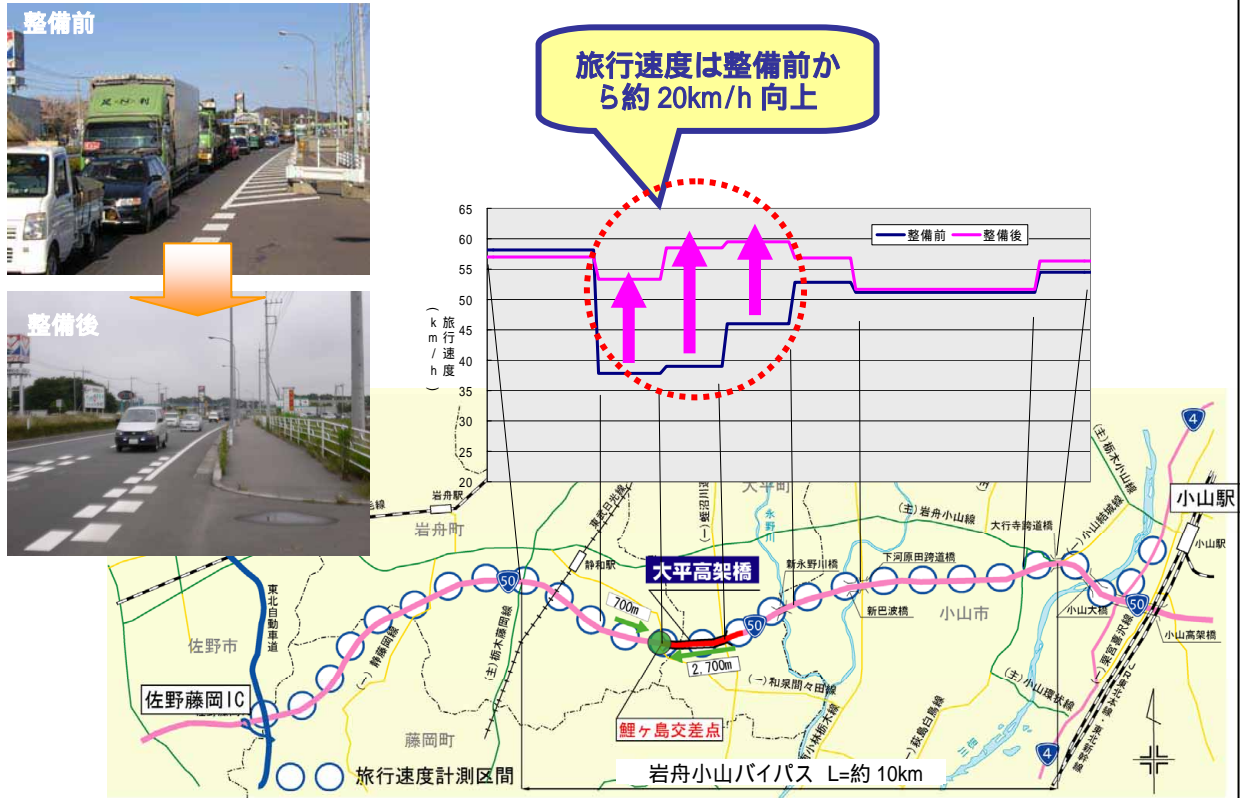
住所 栃木県宇都宮市平松町 504

電話 028-638-2181 (代表)

# 整備効果① 国道50号のボトルネック解消！

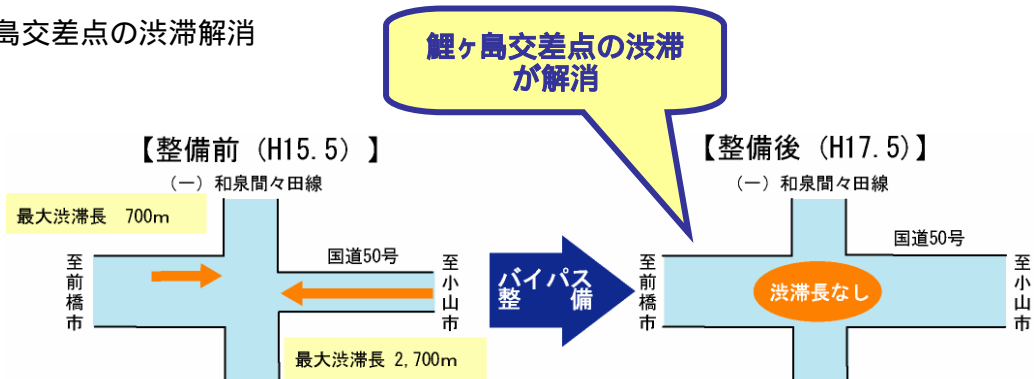
2車線区間前後におけるボトルネックが解消し、旅行速度が約20km/h 向上

国道50号岩舟小山バイパスの旅行速度の変化



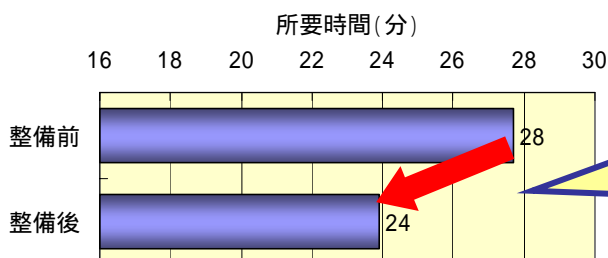
(資料) 国土交通省調査  
 整備前: 平成17年2月～3月観測結果 整備後: 平成17年5月観測結果

## 鯉ヶ島交差点の渋滞解消



## 所要時間の変化

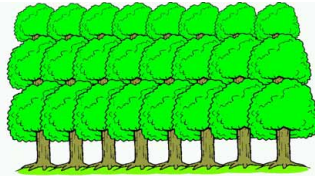
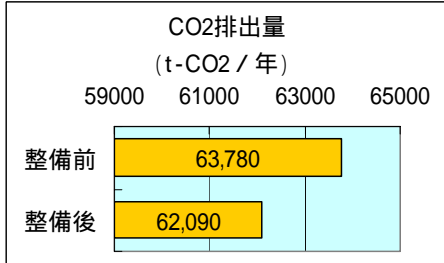
小山市内 (JR小山駅) ~ 佐野藤岡IC間の所要時間



## 整備効果② 交通の円滑化により環境が改善！

ボトルネックの解消、旅行速度の向上等により、沿道環境の改善、地球温暖化防止に寄与

**二酸化炭素(CO<sub>2</sub>):約1,690t-CO<sub>2</sub>/年削減「約3%削減」(森林面積約159ha分)**



森林面積約159ha  
の二酸化炭素吸収  
量に相当！

森林の二酸化炭素吸収量は10.6t-CO<sub>2</sub>/ha年とした。  
出典：「土地利用・土地利用変化及び林業に関するグッド・プラクティス・ガイダンス（優良手法指針）」より

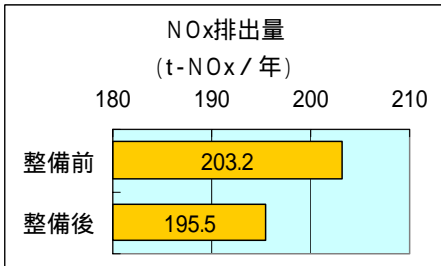


栃木県中央公園

×15個

※栃木県中央公園（約10.5ha）の面積約15個分に相当する。

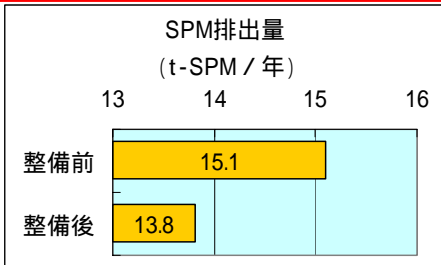
**窒素氧化物(NO<sub>x</sub>):約7.7t/年削減「約4%削減」(大型トラック約67台分)**



大型トラック  
約67台分の体積  
に相当！

NO<sub>x</sub>1gの体積は、523mlとして換算  
出典：「道路環境影響評価の技術手法」((財)道路環境研究所)より  
大型トラックの荷室の容積は、約60m<sup>3</sup>として換算

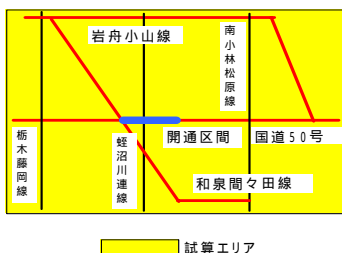
**浮遊粒子状物質(SPM):約1.3t/年削減「約9%削減」(ペットボトル約13,000本分)**



1年間で500ml ペット  
ボトル約13,000本の  
体積に相当！

500mlのペットボトル1本はSPM約100gとして換算

試算エリア



各排出量の算出は「国土技術政策総合研究所資料」による。